

## 平成18年度旧司法試験第二次試験口述試験における問題のテーマについて

口述試験は、一定の法律問題（テーマ）を素材として、法曹となろうとする者に必要な学識及びその応用能力を有するかどうかを口頭表現という形で判定する試験であり、平成18年度においては、以下のテーマを中心として行われた。

なお、試験の際の具体的なやり取りによっては、テーマが変更・追加されたものもある。

試験日\科目	憲 法	民 法	民事訴訟法	刑 法	刑事訴訟法
第1日目 10月21日(土)	先端科学技術と学問の自由	売買契約と手付	引換給付判決・請求の減縮	詐欺罪における欺罔行為、処分行為等	自白調書の証拠能力、同種前科による立証、訴因変更の要否
第2日目 10月22日(日)	行政権の意義と独立行政委員会	不法原因給付	当事者の欠席・判決の無効	放火罪における「建造物」の意義等	共同被告人がいる場合の証拠調べの方法
第3日目 10月23日(月)	裁判員制度	申込みの意思表示・誘因、表見使者・錯誤	共同訴訟・訴訟上の和解	人を欺いて口座に振り込ませる行為及びその預金の引き出し行為と財産犯	弁論等の制限、伝聞証拠の証拠能力等